社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

秋田林業土木協会

活動内容	夏休みを前に仁別林道の環境整備を実施

１　実施年月日　：　平成２９年７月７日
２　実施場所　　：　秋田県秋田市仁別字務沢国有林
　　秋田森林管理署管内　仁別林道等
３　参加会員数　：　１２企業及び事務局　　延べ３０人

４　活動内容：

仁別林道は、天然秋田杉で知られる「仁別国民の森」や仁別森林鉄道の歴史等を紹介する「仁別森林博物館」、市民登山で親しまれる太平山の登山口にあたり、全国から登山者や森林鉄道ファンが訪れます。特に、夏休み期間中、「仁別森林博物館」では森林鉄道展、親子森林教室など多くのイベントが計画されており、多くの家族連れでの賑わいます。

当協会では、夏休みが始まる前に、訪れる方々に林道を安全かつ快適に利用してもらおうと、平成２１年から毎年、仁別林道の環境整備を実施しています。

今年も秋田県内会員企業から３０名が参加したほか、管轄する秋田森林管理署から４名の方々にご指導をいただきました。

まず、林道起点近くにある旭川ダム公園駐車場に集合して開会式を行い、二村森林管理署長からご挨拶をいただきました。その後、刈り払い機３班、軽トラック荷台設置式の自動除草機２台、カーブミラー清掃班の分かれて、分担して作業を行いました。

夏の日射しが降り注ぐ中、約９ｋｍの区間を沿線の草刈りやカーブミラーの清掃などに２時間少々、汗を流しましたが、作業完了後は見違えるように通行しやすい林道となりました。

なお、この活動の様子は、毎日新聞、秋田建設工業新聞に掲載されました。

活動写真

作業前の開会式

協会尾形監事の開会挨拶

秋田署二村署長のご挨拶

刈り払い機での除草作業

自動除草機による除草

カーブミラーの清掃作業

作業に参加された皆さん

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

秋田林業土木協会

活動内容

白砂青松の海岸林を目指して
―　海岸林クリーンアップに参加　―

１　実施年月日　：　平成２９年７月１１日
２　実施場所　　：　秋田県由利本荘市水林国有林
　　由利森林管理署管内　飛砂防備保安林
３　参加会員数　：　４企業及び事務局　　延べ１１人
４　活動内容：

秋田県西南端、由利森林管理署管内に位置する本荘海岸は、市街地に近く、飛砂防備保安林として古くから地域や人々の生活を守り続けてきました。平成１０年頃から松食い虫被害で壊滅的な被害を被ったこの海岸林も、地域の人々やボランティア団体などが協力して森林管理署と一緒に海岸林再生の取組を進めたことにより、ようやく海岸林復活の目途がたってきています。

しかし、近年、この地域の海岸にゴミが漂着し始めたことと、心ない釣り客や海水浴客などによるゴミの投棄もあって、ゴミの散乱が目立つようになりました。そこで、海岸林を復活させようと取り組んでいる地元のボランティア団体が、森林管理署とともに数年前から取り組んできた「海岸林クリーンアップ」活動に、今年も当協会は参加しました。

当日は晴天に恵まれ、各団体からボランティアで参加した約４０名が森林管理署の玄関前に集合し、開会式が行われました。最初に、由利森林管理署の仙北谷署長からご挨拶をいただき、森林管理署の取り組みや海岸林の役割などについて理解を深めました。続いて、遠間森林技術指導官から作業の留意事項等の説明を受けた後、車に分乗して現地に向かいました。

海岸には、発泡スチロールやプラスチック、ハングル標記のペットボトル、ビニール袋など多種多様のゴミが散乱していましたが、参加者はゴミ袋を片手にゴミを拾い集めました。このような取組の成果もあってか、当日集めたゴミの量は、昨年より大分少なめでした。

当協会は、引き続き本荘海岸のクリーンアップに協力していく考えですが、釣り人や海水浴客などのマナーとモラルの向上も望まれるところです。

活動写真

由利署前での開会式

由利署仙北谷署長のご挨拶

当協会の参加者によるクリーンアップ活動状況

ゴミを満載した当協会のダンプ

当協会はベストを着用して活動

作業に参加された皆さん

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

秋田林業土木協会

活動内容

夏の蔵王観光を安全で快適に
―　蔵王林道の環境整備を実施　―

1　実施年月日　：　平成２９年７月１４日
2　実施場所　　：　山形県山形市蔵王温泉熊野岳国有林
　　山形森林管理署管内　蔵王林道
3　参加会員数　：　１３企業及び事務局　　延べ３３人

4　活動内容：

蔵王は、美しい樹氷やアルペンスキー、国際ジャンプ大会などウィンタースポーツで世界的に有名ですが、夏のシーズンにも高山植物が咲き乱れ、自然景観がすばらしい蔵王高原には多くの観光客が訪れています。

蔵王林道は、山形森林管理署と山形市の併用林道ですが、蔵王の観光道路としても利用され、蔵王高原から蔵王地蔵岳、熊野岳の登山口やドッコ沼などにも通じており、道中から蔵王温泉街や山形市街地などを眼下に一望できる路線でもあります。

毎年、夏休み期間中は、登山や観光で蔵王林道を利用する人や車が多くなることから、当協会では、平成２２年から毎年、林道沿線（約７ｋｍ）の環境整備をボランティアで実施しています。

当日は、蔵王林道の入口近く、旧国設スキー場駐車場に会員企業１３社から３３名が参加し、山形森林管理署から舩津地域林政調整官、佐藤主任森林整備官にもおいでいただき、開会式を行いました。その後、刈り払い機班を３班、自動除草機２台、カーブミラー清掃班と分かれて、沿線の除草とカーブミラーの整備などを行いました。

当日は、天気が良すぎて屋外作業には辛い暑さになりましたが、作業を終えると蔵王林道は安全で快適に走行できるようになりました。

なお、蔵王林道のボランティア活動は、昨年実施されたインフラメンテナンス大賞に当協会で応募したほか、当日の様子は山形新聞にも掲載されました。

当協会では、来年以降も、このボランティア活動を継続していきたいと考えています。

活動写真

開会式の様子

入口に設置した注意標識

刈り払い機での除草作業

自動除草機での除草作業

カーブミラーの清掃作業

作業に参加された皆さん